

2013 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 2 月 14 日作成)

小委員会名	デザイン科学教育方法研究小委員会	主 査 名：藤井晴行 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	情報システム技術委員会	委員長名：三井和男
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2015 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>[設置目的] デザイン科学小委員会、デザイン科学応用研究小委員会の活動成果を踏まえ、デザイン科学を初学者に教導する方法を実践的に研究することを目的とする。デザイン科学においては図式、数理、論理の正しい理解に基づいてデザインを定式化することが重要である。しかし、建築学の教育カリキュラムはこれらの基礎(計算機科学リテラシー)や応用力(計算機プログラミング)を修得する科目を必ずしも設置しているわけではない。卒論生や修士学生の多くはデザイン科学研究開始と同時にこれらの独学的学習を始める。初学者がデザイン科学の基礎理論を理解した上で図式、数理、論理を正しく使えるようになる教育手法を提示することは建築学を先導する日本建築学会の使命である。</p> <p>[活動計画] ・初年度：デザイン科学教育の内容及び方法の要件の整理、初学者向け教材(オープンソースのプログラム・レポジトリと利用法)の作成、実践的講習会の開催。 ・2年度：デザイン科学教育の内容及び方法の体系化、初学者向け教材(レポジトリ収録プログラムの理論的解説)作成と公開、実践的講習会の開催。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有 主査：藤井晴行(東工大) 幹事：大崎純(広島大)、長坂一郎(神戸大) 委員：位寄和久(熊本大)、渡辺俊(筑波大)、岩田伸一郎(日大)、加藤直樹(京大)、川角典弘(和歌山大)、張景耀(名市大)、水谷晃啓(芝浦工大)、小林祐貴(京大)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2013 年度予算	230,000 円	ホームページ公開の有無： 無 委員会 HP アドレス：

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	1. 第 1 回デザイン科学セミナー 『同名資料』 参加者数 31 名
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	1. 第36回情報・システム・利用・技術シンポジウム ・小委員会企画OS「デザイン科学の展開」 参加者数 23 名 『第 36 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集』所収
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. デザイン科学の教育カリキュラムのアウトラインを作成した(継続)。 2. デザイン科学に関する計算機プログラミングの教材を整備した(継続)。 3. デザイン科学セミナー(半日)を開催した。
委員会活動の問題点 ・課題	1. デザイン科学セミナーは数日間集中的に行うことが効果的であるとの知見を得ている。実現の方策を考案することが今後の課題に含まれる。
その他	